

報道関係各位

件 名 緊急財政対策について

1 概要

本市の財政は、「資金面」において極めて危機的な事態に直面しており、こうした事態からいち早く脱却し、将来にわたり持続可能な行財政運営を確立させるため、短期的・集中的に財政対策に特化した事務事業の見直し等の取組を進めることとし、「飯能市緊急財政対策プラン」を策定いたしました。

本プランでは、財政調整基金及び減債基金の合計額を標準財政規模の10%（19.5億円）以上確保することを目標として掲げており、その実現のためには、今後の予算編成において令和7年度当初予算よりも充当一般財源を縮小した規模で予算編成する必要があります。

そのため、本市では、事務事業見直し検討シートの活用等により、市民や事業者の皆様にご理解、ご協力をいただきながら、行政サービスの廃止や受益者負担の見直しなど、より厳しい目で全ての事務事業を聖域なく見直してまいります。

2 内容

(1) 事務事業見直し検討シートについて

見直しの対象とする事務事業の一覧を作成し、一件ずつ実績や成果等を検証し、受益者負担を見直した上で継続するもの、規模を縮小するもの、休止・廃止するもの、実施を先延ばしするものなどに段階的に整理し、令和8年度予算編成等において反映することとしています。

(2) 使用料及び手数料の見直しについて

令和8年4月1日改正を目途に、証明書発行手数料や地区行政センター施設等の使用料の減免要件の見直しについての検討を開始しています。

(3) 窓口開庁時間、住民向け施設の開館時間の短縮について

令和8年4月1日からの実施を目途に、市役所本庁舎、各地区行政センター等における行政手続窓口の開庁時間の短縮及び一部の住民向け施設の開館時間の短縮についての検討を開始しています。

(4) 普通建設事業の選択と集中による取捨選択に向けた大規模建設事業の洗い出し

土地区画整理事業、飯能第一小学校等複合施設整備、久下六道線整備、元加治駅周辺整備、道の駅整備のほか、市民会館などの既存施設で今後設備等の更新や改修に多額の費用を要するものなどについては、改めて概算事業費や計画期間が見える化し、市全体で総合的に優先順位を判断し、事業の取捨選択を行います。

(5) 新たな自主財源の確保に向けた取組状況について

ガバメントクラウドファンディング®の試行、ふるさと納税制度について、新たな取組を行うほか、飯能第一小学校等複合施設整備事業に要する費用の財源確保に向けて取組を進めています。

担当者 財政課長 高山

連絡先 TEL042-973-2111